

# 第30号 すいかずら

General Incorporated Association  
Shrine and Temple  
Architectural Decoration  
Heritage Skill Association

令和3年3月発行  
編集：(一社)社寺建造物美術保存技術協会  
発行人：アトキンソン デービッド マーク  
〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田KMビル3F  
株式会社小西美術工芸社内（事務局）  
Tel: 03-5765-1481 Fax: 03-3455-9250  
<https://shabikyoo.com/>



## 「伝統建築工匠の技」ユネスコ無形文化遺産に登録

令和二年十二月十七日のユネスコ無形文化遺産保護条約第十五回政府間委員会において、日本が登録に向け提案を進めていた「伝統建築工匠の技…木造建造物を受け継ぐための伝統技術」の、代表一覧表への「記載」が正式決定されました。

これを受け、翌十八日には、文化財修理技術保存連盟に加盟する社寺建造物美術保存技術協会他六団体が清水寺（京都市）に参集。弊団体からはアトキンソン代表理事と荒木理事が参列し、関係者の皆様と喜びを分かち合いました。

登録は、「建造物装飾」社寺建造物美術保存技術協会を含む国の選定保存技術十七件で構成され、無形文化遺産全般の重要性の認知と意識の向上の確保への貢献や、無形文化遺産と有形文化遺産である建造物との本質的な関係に光を当てていることなどが評価されました。（文化庁報道資料より）

伝統技術の伝承を真の意味で実現していくために、弊協会が目指す「責任ある修理」と「健全たる業界の発展」がますます求められていくことと、思いを新たにす契機となりました。

## ● 令和2年度 年間事業報告 ●

令和2年	活動(●は国庫補助事業)	場 所
5月	第1回 理事会・社員総会	通信理事会 (書面)
6月11日	臨時理事会	通信理事会 (オンライン)
6月25日	臨時理事会	京都 松山閣 松山 伊勢丹店
6月25日	通常会員総会	京都 元山王小学校内 ふれあいサロン
7月13日～17日	●固有技術向上研修会【単色塗部門】	京都 元山王小学校内 社美協 / 豊保存会事務所
7月27日～8月4日	●固有技術向上研修会【彩色部門 第Ⅰ期】	京都 車折神社境内 芸能神社本殿
8月4日～5日	●新規採用者のための文化財修理研修会	京都 TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター
8月17日～25日	●固有技術向上研修会【金具部門 第Ⅰ期】	東京 (株)小西美術工藝社 東京工房 栃木 (株)小西美術工藝社 日光工房
9月7日～19日	●固有技術向上研修会【彩色部門 第Ⅱ期】 脇障子彩色研修	栃木 (株)小西美術工藝社 日光工房
9月14日～29日	●固有技術向上研修会【彩色部門 第Ⅱ期】 摹股彫刻彩色研修	京都 (有)川面美術研究所 福王子アトリエ
10月5日～6日	●固有技術向上研修会【金具部門 第Ⅱ期】	京都 車折神社境内 芸能神社本殿
10月21日	●固有技術向上研修会【金具部門 第Ⅱ期追加】	京都 車折神社境内 芸能神社本殿
11月12日	第2回 理事会	京都 元山王小学校内 社美協事務所
11月20日	伝統建築工匠の技保存会 臨時総会	東京 TKP 上野駅前ビジネスセンター
12月19日	文化財修理技術保存連盟 伝統建築工匠の技 ユネスコ無形文化遺産登録記念奉祝会	京都 清水寺 京都市文化財建造物保存技術研修センター
令和3年		
令和3年1月26日	第3回 理事会	通信理事会 (オンライン)

※他団体の実施する会議などへの参加は、主要なもののみ掲載  
※新型コロナウイルス感染症の影響により●「中・上級技術者研修会」●「建造物装飾修理用資材研修会」は開催中止、日本の技 EXPO は開催延期

## 令和3年度社寺建造物装飾技術者事業計画 (国庫補助事業)

### ① 能技の術練・磨技

#### 1. 固有技術向上研修会 <対象：経験年数5年～10年>

各専門技術の基本的な作業手順とその応用を研修し、また実際の施工例を題材とした課題検討を行う。

令和3年度は、経験年数5年～10年の漆、彩色部門の技能者を対象に、基礎技術の確認を目的とした研修を実施する。

### ② 成記・録刊の行作

○ホームページによる活動報告

○報告書と会報「すいかずら」による研修事業の成果報告 (年1～2回発行)



令和二年の新型コロナウイルス感染症の拡大は、当協会の活動にも影響をもたらしました。予定していた研修の約半分を見合わせる事となり、大変残念に思います。しかしながら、京都の車折神社様では、対策を図りながら固有技術向上研修を実施し、三年越しの修理が完成に至ったことは、嬉しいニュースとなりました。高田能史宮司を初め、関係者の皆様に感謝申し上げます。

当協会は、荒木前会長の時代から、研修制度と認定制度を立ち上げるという大事業を進めています。この事業をさらに発展させるべく、今年度は理事会の体制を大きく変えました。澤野道玄さんが理事を引退され顧問へ就任いただいたことをきっかけに、理事の数を六人に絞り、メンバーの一新を図りました。会長以外の五人の理事が当協会五部門をそれぞれ統括する、担当理事制度といたしました。理事には新しく、長屋進氏（漆部門）、片山龍馬氏（単色塗り）、小野村勇人氏（剥落止め）を迎え、彩色部門には荒木かおり副会長、鍔金具部門は森本安之助氏に担当いただいています。さらに、各担当理事の下に、部長を設け、「技能者が考え、技能者のためになる研修制度」を実現する体制としています。

昨年、この担当理事と部長の十人が何度も話し合いを重ね、経験年数一年から十年までの技能者に向けた研修カリキュラムを作成いただきました。

こう一文をしたためながらも、その過程に、「一年目は何を教えるべきか、二年目は？」と問いながら各部門で案が練られ、五つもの部門でそれを整理し、互いに調整するなど、様々な苦労があったことが思い返されます。

令和三年度は、原則五年生から十年生の技能者の技術を、研修を通して確認し、「中級技能者」認定ができるよう準備を進めています。また、十六年以上の実績があり、上級技能者でない技能者を「准上級技能者」として認定することも予定しています。この二つを進めることで、登録されている社美協準会員22人のうち約九割が何らかの認定を受けていることとなります。

この業界に入ってから、私は、国宝・重要文化財を修理する技能者の業界に資格制度がないことに大きな違和感を覚えました。人の髪の毛を切るための国家資格があるのに、国宝に触れるための資格がないことは不自然です。世界無形文化遺産に登録された技術を有する者に資格がないことも理解に苦しみます。是非とも実現をしたい認定制度です。

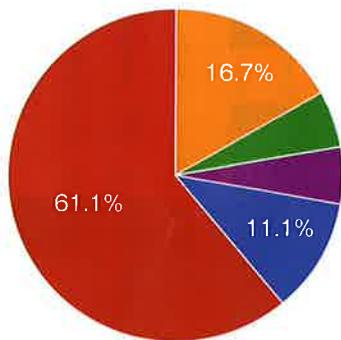
令和四年度には研修制度を本格始動できるよう目指していますが、今は準会員への認定を進める大切な立ち上げの段階です。全力で挑戦して参りますので、引き続きご指導、ご協力をお願いいたします。

代表理事 アトキンソン デービッド マーク

## 新型コロナウイルスの影響に関する調査レポート

### 新型コロナウイルス感染症による経営への影響の有無

18件の回答



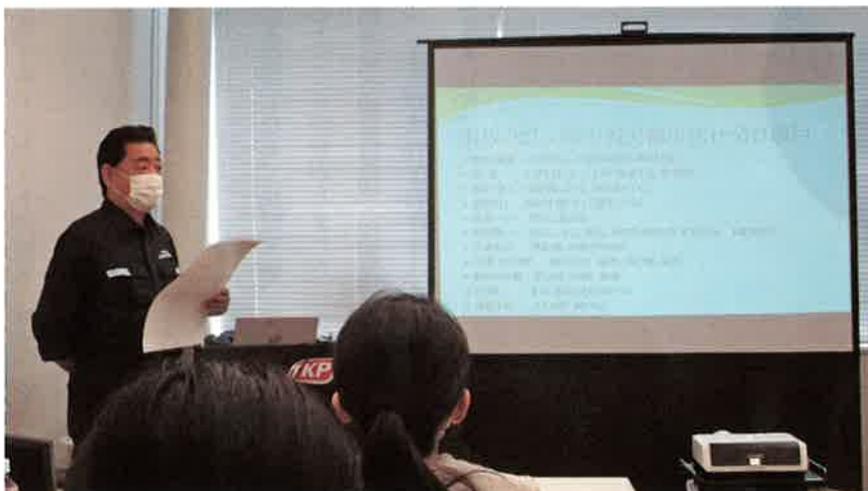
- 深刻な影響が出ている
- やや影響が出ている
- 影響はまだ出ていない
- 影響は出ておらず、見込みもない
- 目に見える影響は出ていないが、今後の影響が懸念される。

令和二年十二月に実施した、新型コロナウイルス感染症の経営に及ぼす影響に関するアンケートの結果（概要）をご報告いたします。

回答のあった18社のうち、「経営への影響の有無」に関する質問では、「やや影響があった」が約六割を占めました。具体的な影響の内容としては、「売上」「営業活動」「原材料・資材等の仕入れ」が主な回答となり、民間工事、文化財助成事業それぞれに影響のあったことが分かりました。また、実施している対応策では、「従業員の健康管理・注意喚起」「消毒液等の設置」が多数を占め、時差出勤や在宅勤務の適用が困難な業界ならではの事情が窺えました。

# 「新規採用者のための文化財修理研修会」

期 間：令和2年8月4日・5日  
 場 所：TKP 京都四条駅前カンファレンスセンター ミーティングルーム8D（京都市）  
 講 師：（公財）文化財建造物保存技術協会 賀古唯義、（財）中小建設業特別教育協会 高崎親一  
 研 修 生：6名



文化財修理に従事する技術者として心得ておくべき基礎知識を学ぶ研修を今年も開催しました。

新型コロナウイルスの感染状況が懸念される中、参加の見合わせや感染対策のため、会場変更をするなどありましたが、参加者全員が健康を損ねることなく、研修を終えることができました。

二日間の研修では、今年度も（公財）文化財建造物保存技術協会 賀古唯義氏を講師にお迎えし、一日目、第一部では文化財の修理計画がどのように計画され、進行していくのか、一連の流れを解説い

ただき、また、完成後の地域の活用についても触れていただきました。

第二部では、工事で実際に経験された彩色工事の修理方針の課題を取り上げ、参加した研修生それぞれが修理の進め方を検討する実習課題を実施し、今後業務に携わるうえで「いつまでも考え続けてほしいこと」を学びました。

二日目は、労働災害を起こさず心身共に健康で安全に業務にあたるための知識や法令を（財）中小建設業特別教育協会 高崎親一氏に解説いただき、学習しました。

固有技術向上研修会 車折神社芸能神社本殿竣工

初級技術者を対象に各部門技術の基礎工程と技術の向上を意図した本研修は、車折神社（京都市右京区）芸能神社本殿を対象に単色塗、彩色、金具の三つの部門で進められました。今年度の当初の事業計画では七月完成を目指していましたが、コロナウイルスの感染拡大を受け全体計画を見直すこととなり、より安全な開催を模索する中で、実施場所や日程を再調整しました。そうした運営上の困難に見舞われましたが、令和二年十月二十一日、爽やかな秋晴れの中、最後の銙金具が取付けられ、平成三十年度から進めていた三カ年の実技研修が全て終了しました。

これまで参加した研修生や講師を招いた竣工の式典の開催は、当協会としては残念ながら実施を見送ることとなりましたが、十二月十七日には車折神社様が竣工奉祝祭を主催くださり、招待を受けたアトキンソン代表理事が出席いたしました。来賓の西脇京都府知事、門川京都市長からは祝辞を頂戴いたしました。



## 「単色塗研修会」

期 間：令和2年7月13日～17日  
 場 所：社寺建造物美術保存技術協会 / 文化財豊保存会 旧山王小学校事務所（京都市）  
 講 師：(株)片山 片山龍馬  
 研 修 生：2名

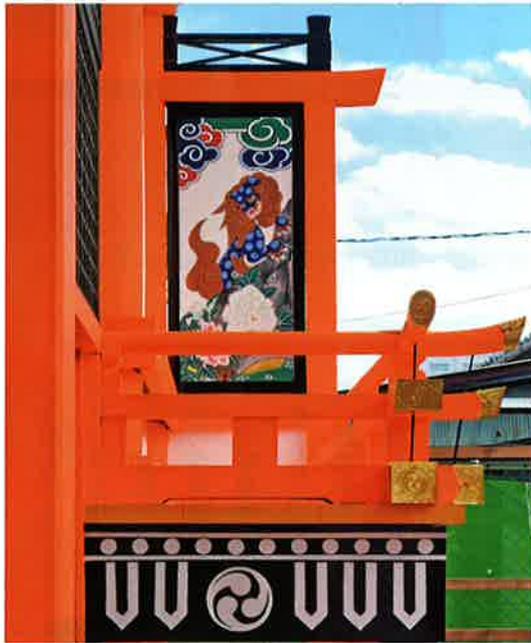
今年度は、昨年度の応用編として、難易度の高い葺戸の胡粉塗り、墨塗りを研修で進めていただきました。

取り外された部材の状態は良好であったので、下地処理に時間はかかりませんでしたが、組み立てられた建具の凹凸各面を汚さぬよう塗り分ける作業は、適した道具の選択と集中力が求められます。研修場所が屋外の場合には天候を含め、環境が作業効率に影響し、手を動かすこと以外にも気を配ることが増えますので、今回屋内作業となったことは、作業に没頭するには功を奏したようです。



# 「彩色研修会」

期 間：第Ⅰ期 令和2年7月27日～8月4日 第Ⅱ期 脇障子 9月7日～19日、臺股 9月14日～29日  
 場 所：第Ⅰ期 車折神社境内 芸能神社本殿（京都市）  
 第Ⅱ期 脇障子 (株)小西美術工藝社 日光工房（日光市）  
 臺股 (有)川面美術研究所 福王子アトリエ（京都市）  
 講 師：第Ⅰ期・第Ⅱ期 臺股 (有)川面美術研究所 所長 荒木かおり、助手 穴戸優子  
 第Ⅱ期 脇障子 (株)小西美術工藝社 渋谷大輔  
 研 修 生：第Ⅰ期 2名、第Ⅱ期 脇障子 2名、臺股 2名



## 【第Ⅰ期】

昨年度の研修で調査、トレースを進めた縁下幕板の文様を復元しました。

初日、胡粉の歴史や製法について荒木かおり講師からの解説を受けてから、作業に着手しました。光沢のある漆塗膜の上に文様を載せていくため、顔料を定着させること、隠蔽力の高い絵具を選択するなど工夫が必要でした。研修生たちは、型がずれぬよう、発色良く塗り重ねていくよう、調整を重ねながら挑みました。

## 【第Ⅱ期】

臺股彫刻と脇障子の絵画は、京都と日光の二か所に分かれ、それぞれ現図を基に線を描き、色を入れていく工程を研修しました。

作業工程が頭に入っているにもかかわらず、実作業では、経験の不足や技術力により迷いや課題が生じる、時間配分が思い通りにいかないなど、さまざまな困難に直面します。ぶつかりながら一つもの完成することにより、実務での自分の作業を振り返ることにつながるなど、収穫は大きかったです。

# 「金具研修会」

期 間：第Ⅰ期 令和2年8月17日～25日 第Ⅱ期 10月5日～6日 追加 10月21日  
場 所：第Ⅰ期 (株)小西美術工藝社 東京工房 (東京都大田区)  
第Ⅱ期・追加 車折神社境内 芸能神社本殿 (京都市)  
講 師：(株)小西美術工藝社 宍戸康一、山本睦  
研 修 生：第Ⅰ期 3名、第Ⅱ期 4名、追加 1名



昨年度は取り外した金具の補修を中心に研修しましたが、今年度は脱落していた箇所の新規制作、表装仕上げ、取付を進めていただきました。

脱落箇所の金具は、参考とする金具が残っており、文様の図案

から提案をしていただきましたが、柄の選択やバランスに配慮した図案作成、設定時間を意識した作業の進行など、研修生それぞれが自分たちの力量と対峙する経験となりました。講師の指導を仰ぎながら懸命に手を動かしている様子が印象的でした。

# (一社)社寺建造物美術保存技術協会 会員情報

各会員の連絡先、最新情報は社美協ホームページ「会員名簿」(<https://shabikyo.com/meibo.html>)でご確認いただけます。 令和3年1月

企業名(正会員)	登録部門	漆	彩	剥	単	金	合計
(一社)天野山文化遺産研究所	登録部門		○	●			
	上級技能者数			1			1
	その他準会員数			3			3
(株)大谷相模掾鑄造所	登録部門					●	
	上級技能者数					4	4
	その他準会員数					3	3
(株)片山	登録部門	◎	○	○	●		
	上級技能者数				2		2
	その他準会員数	1			2		3
(有)川面美術研究所	登録部門		●	◎			
	上級技能者数		3				3
	その他準会員数		13	2			15
岸野美術漆工業(株)	登録部門	●	●				
	上級技能者数	1	1				2
	その他準会員数	7	7				14
京都社寺鋳漆(株)	登録部門					◎	
	上級技能者数						0
	その他準会員数					5	5
(株)後藤鋳金具製作所	登録部門					◎	
	上級技能者数						0
	その他準会員数					4	4
(株)小西美術工藝社	登録部門	●	●	◎	●	●	
	上級技能者数	6	4		1	3	14
	その他準会員数	22	11	2	2	6	43
(有)彩色設計	登録部門		●	◎			
	上級技能者数		2				2
	その他準会員数		3	2			5
(有)齋藤漆工藝	登録部門	●	●			◎	
	上級技能者数	1	1				2
	その他準会員数	6	2		1		9
(株)さかい	登録部門	●				●	
	上級技能者数	1				1	2
	その他準会員数	1				1	2

企業名(正会員)	登録部門	漆	彩	剥	単	金	合計
(有)佐和漆工藝社	登録部門	●	◎	○			
	上級技能者数	1					1
	その他準会員数	4	4				8
(株)さわの道玄	登録部門	●	●	●	●		
	上級技能者数	1	1	1	1		4
	その他準会員数	3	5	5	5		18
(一財)塩尻・木曾地域地場産業振興センター	登録部門	◎					
	上級技能者数						0
	その他準会員数	2					2
(有)島津漆彩色工房	登録部門	◎	◎	○	○		
	上級技能者数						0
	その他準会員数	12	7				19
(有)鈴木鋳金具工藝社	登録部門					◎	
	上級技能者数						0
	その他準会員数					6	6
(株)はせがわ美術工藝	登録部門	●					
	上級技能者数	2					2
	その他準会員数	5					5
邑田漆芸(株)	登録部門	●				○	
	上級技能者数	1					1
	その他準会員数	9					9
(株)森本鋳金具製作所	登録部門					●	
	上級技能者数						2
	その他準会員数					6	6
(有)横山金具工房	登録部門					●	
	上級技能者数						2
	その他準会員数					1	1
(株)若林工藝舎	登録部門	●	◎	○	○	◎	
	上級技能者数	1					1
	その他準会員数	4	1		1	1	7
個人準会員		漆	彩	剥	単	金	合計
		11	4	4	8	1	28

## 凡例と各項目集計

登録部門：

当該部門を主たる技術として登録の上級技能者がいる	●
上級技能者はいないが、当該部門を主たる技術として登録の準会員がいる	◎
他部門を兼務する準会員がいる	○

上級技能者数	45
その他準会員数	187
個人準会員数	28
	260

※上級技能者とは、原則、次の者とする

- ・16年以上の経験を有する
- ・職長として、一定以上の文化財の施工件数(部門別)及び施工総額の実績を有する
- ・職長として施工した文化財のうち、2件の代表物件における外部有識者を交えた現地審査を経た者

※個人準会員とは、原則、次の者とする

- ・業務を正会員と常用外注する関係にあり、且つ高度な文化財建造物装飾技術の保持が正会員により担保されている者

認定保存技術【漆器特修】認定団体  
 一般社団法人 社寺建造物美術保存技術協会   
 〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 三田KMビル3F  
 (株)小西美術工藝社内(事務局)  
 Tel: 03-5765-1481 Fax: 03-3455-9250



令和2年度は、これまでにない課題に直面する一年となりました。数々の制約にばかりとかく目が向きがちですが、理事の皆様にもご意見を賜りながら、視点を変換し乗り越えていくことの大切さを痛感いたしました。(S)